

節句の楽しみかた



暮らしのなかにはいろいろな行事や節目があり、その思い出もさまざまです。それぞれが主役の歴史に、息づく記憶。節句にまつわる一人ひとりの物語をご紹介しますしながら、節句の楽しみを発見・発明していきたいと思えます。



機織機



矢作人形さんの五節句人形・七夕



九十九里辺りで見られる七夕馬



津森屋の五坂川原(たちねがわ)



梅風味 炒めそうめん

食欲がないときなどには、大助かりのそうめんですが、栄養も考えてこんな工夫などはいかがでしょう。

(一人分)

- そうめん…1束
- 生しいたけ…1枚
- ねぎ…1/4本
- 梅干…1個
- 青じそ…2~3枚
- ちりめんじゃこ…大さじ2
- サラダ油…少々
- つゆ
- だし汁…200ml
- しょうゆ…大さじ1
- みりん…小さじ1
- 砂糖…ひとつまみ

- ① そうめんは茹でて水で洗い、ざるにあげて水気を切る。
- ② 生しいたけは軸を取り、細切り。ねぎは小口切り。梅干は種を取り、粗く叩く。
- ③ フライパンにサラダ油をひいて熱し、②とじゃこを炒める。
- ④ ③にそうめんを加え、さっと炒めて器に盛る。
- ⑤ だし汁にしょうゆとみりんと砂糖を加えてひと煮立ちさせて、④にかけ、千切りにした青じそを添える。

七夕といえば、誰でも小さいころに、幼稚園や保育園、小学校の行事として、葉世に願いごとを書いた短冊を吊るしたりしたことがありませんよね。しかし残念ながらそれっきりで、個人的に毎年なにかお祝いをする、というご家庭はめっきり少ないのが現状です。全国的に有名な仙台や平塚などの七夕祭りのような、地域でお祭りとして開催されている七夕を思い浮かべる方が多いようです。

かつての七夕行事は、農耕儀礼に深く関わっており、地方色豊かでした。草や藁で作った馬(七夕馬と呼ばれる)で魔除けをしたり、笹飾りや人形、ろうそくをのせた船を川に流すことで禊(みそぎ)を行ったりとさまざまです。

現在の繁華街や商店街を彩る七夕祭りはほとんどが、一九五〇年半ばに、戦災で破壊された中心市街地が本格的に復興してきたことで、商店街を中心として始まったものです。また、その背景には「昭和の大合併」と呼ばれた地方自治体の合併が盛んに行われ、新しい市のシンボルとなる祭りやイベントが求められていたという事情もありました。

七夕ならではの料理

江戸時代の著作『日本歳時記』(一六八八)には、索餅(さくへい)がそうめんの原型であり、七夕に索餅を食べると病にかからないという中国の伝説により、そうめんを食べるようになったと書かれています。索餅とは、小麦粉と米粉を練ったものを縄状によじった、中国のお菓子だと言われています。そうめんも古い歴史がありますね。

食欲がなくなる時期でもありません。食卓を彩ることで、節句の雰囲気味わえるといいですね。

'07 岩槻流しびな

埼玉・岩槻城址公園

第21回
2007 人形のまち

岩槻流しびな

四月二十九日(祝)、岩槻城址公園で、「2007 人形のまち 岩槻流しびな」が開催された。

当日は晴天にも恵まれ、昨年を千人以上上回る約九千五百人が来場。今回は岩槻がさいたま市と合併以降三回目の行事開催となり、岩槻区を始め市内他九区の市民など多くの家族連れでにぎわった。

午前十一時より行われた流しびなの行事には約二千二百人が参加。短冊に願い事を書き入れ、ひな人形を載せた棧俵に添えて菖蒲池の水面に浮かべた。そのほか琴、三味線、市内の幼稚園児による鼓笛隊の演奏や十二単衣の着付け実演、野点、甘酒サービスなどさまざまなイベントが行われ、盛況のうちに終了した。

主催 岩槻人形協同組合

後援 埼玉県／さいたま市／さいたま観光コンベンションビューロー／さいたま商工会議所／東武鉄道／(社)日本人形協会埼玉支部／(社)埼玉節句人形振興協会／岩槻人形優良店会



神主による祈祷のあと、公園内の菖蒲池で行われた流しびな。約二千二百人が参加



鼓笛隊や琴の演奏など、子供たちが活躍して来場者を楽しませた

